

平成 21 年度 福井県立大学大学院
経済・経営学研究科博士前期課程
入学者選抜試験問題 (第 1 次)

専門科目

経済政策・経済史・経営各論・会計分野

以下の問 1～問 5 の中から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済政策) 次の (1)、(2) のいずれかを選択して解答しなさい。

- (1) 日本の食料自給率の現況について触れながら、これからの望ましい食料政策について論じなさい。
- (2) 株式会社による農地所有の是非について、主要論点をあげながら論じなさい。

問 2 (経済政策) 先進各国で財政赤字が構造化している。財政赤字の要因について説明したうえで、財政赤字の問題点について述べよ。

問 3 (経済史) 第二次大戦後に実施された経済改革 (経済民主化) について説明せよ。

問 4 (経営各論) 以下の (1)、(2)、(3) のうちいずれか 1 題を選び、解答せよ。

- (1) 今日の企業をとりまく実践的な経営課題にはどのようなものがあるか。主要な課題をいくつかあげよ。また、そのうちの任意の特定課題について、より詳細に説明すると共に、基本的な対処方向についても述べよ。なお、実践的な経営課題は、環境状況の変化や技術の変化、市場と顧客の変化、さらにはそこからする企業間関係の変化等からすべて生まれてくるものである。こうしたことも参考にして記述すること。
- (2) 今新しく事業を始めるとする。その場合、考慮すべきこと、検討すべきことにはどのようなことがあるか、説明せよ。これは事業起こしや創業を成功させるにはどのような条件が必要かということである。
- (3) 企業経営において人と組織のあり方はきわめて重要なことである。では、今日の企業をとりまく情勢の下で、人と組織のあり方には、どのようなことが要請されているか。より具体的には、組織成員にやる気を出させ、企業に成果をもたらすには何が必要か。また、企業側としては、実際にどのような方策をとっているか。これらについて、自らの知るところや考えを述べよ。

問 5 (会計学) 直接原価計算と活動基準原価計算とを対比しながら、それぞれの計算構造を明らかにした後で、両者がいかなる経営課題に対応してきたかに関して、それらが登場してきた歴史的あるいは経済的な背景を念頭におきながら考察しなさい。